

Vol. 2

Adrenal Fatigue

2018



AF(アドレナル・ファティグ)セミナー 2018 Vol.2 のご案内

アドレナル・ファティグ外来の基礎から最新の臨床応用まで
～アドレナル・ファティグ外来10年間の臨床経験の共有～

日時

平成30年9月30日(日) 10:00～17:00(開場9:30)

*セミナー終了後 別会場で懇親会

会場

品川フロントビル会議室

対象

医療従事者の方

定員

90名 *先着順 定員となり次第締め切らせていただきます。

セミナー受講料

テキスト、オーガニックグルテンフリー弁当、バックアップサービスを含む

- ・医師、歯科医師: 50,000円(税込)
- ・同伴者(医師、歯科医師以外): 40,000円(税込)
- ・懇親会: 3,000円(税込)

主催

California Nutrients, Inc

フリーダイヤル:0120-072-021 フリーFAX:0120-072-037

E-mail:service@ca-nutrients.com

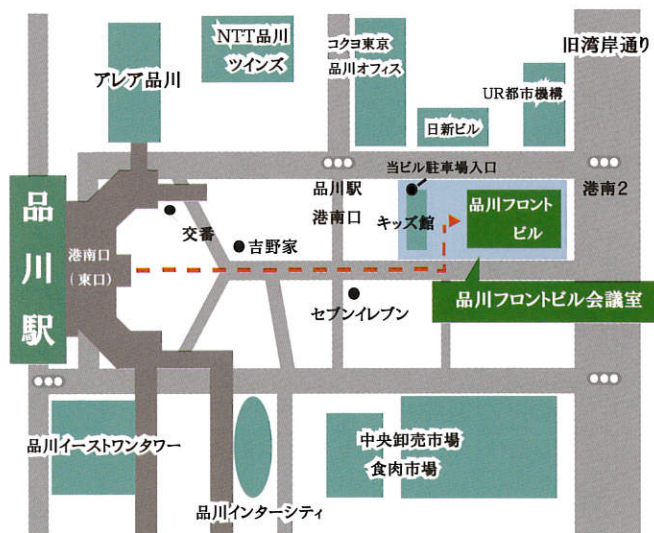
会場

品川フロントビル会議室

〒108-0075

東京都港区港南2-3-13品川フロントビルB1階

TEL:03-5463-9957 / FAX:03-5463-9958



● 駅から徒歩でお越しの場合

- ・品川駅港南口より徒歩3分
- ・JR品川駅中央改札より徒歩5分
- ・京急品川駅改札より徒歩8分

● 車でお越しの場合

品川フロントビル一般駐車場をご利用下さい。

駐車料金:250円/30分(上限なし)

営業時間:7時半～24時30分(入庫23時まで)

※駐車割引等のサービスはございません。

4年前から毎年情報のアップデートに伴い継続して開催させていただいている、本間龍介先生、良子先生によるAF(アドレナル・ファティーグ)セミナーですが、今年1月のMAPS (Medical Academy of Pediatrics Special needs)会長ダン・ロシニョール先生を講師に招いて開催したセミナーに引き続き、AF(アドレナル・ファティーグ)セミナー2018 Vol.2を開催させていただく運びとなりました。

ご周知の通り、講師の本間龍介、良子先生は、日本で最初にアドレナル・ファティーグ外来を開始された、日本におけるアドレナル・ファティーグ治療の第一人者です。

今回のセミナーでは、アドレナル・ファティーグ外来の基本から最新の臨床応用までをレクチャーしていただきます。

また、今回のセミナーでは、特別講師として2名のゲストスピーカーにも登壇していただきます。

第1回目のアドレナル・ファティーグセミナーに参加され、それを機に自院でアドレナル・ファティーグ外来を始められ、素晴らしい治療成果を出されている医療法人社団明照会の理事長小倉行雄先生に、アドレナル・ファティーグ外来の導入から現状までの貴重なストーリーを語っていただきます。

そしてもう一方は、企業再生事業・コンサルティング事業の会社の経営者であり、ご自身がアドレナル・ファティーグで長年にわたり苦しまれ、スクエアクリニックのアドレナル・ファティーグ外来での治療により著しく改善された経験をお持ちの瀬川丈氏に、自らの体験談とプロの視点からアドレナル・ファティーグ導入のメリットと自由診療を成功に導くためのヒントについてお話していただきます。

◆ アドレナル・ファティーグとは？

アドレナル・ファティーグとは、副腎(アドレナル)がストレスにより疲弊、疲労(ファティーグ)してしまうことですが、そのことが原因で、高血圧や糖尿病等の生活習慣病をはじめ、感染症、うつ症状、アレルギー性疾患等、様々な疾患や症状を引き起こすことになります。しかし不幸なことに、日本で一般的に行われている健康診断や検査ではアドレナル・ファティーグを判定することは困難なため、見逃されているのが現状です。



日本ではまだあまり注目されていない『副腎』ですが、アメリカの抗加齢医学会やヨーロッパでは、アドレナル・ファティーグが万病の元として認識されており、あらゆる病気や症状を治療する際に、まず副腎のケアをすることが常識となっています。

【アドレナル・ファティーグが関与する主な症状、疾患】

- ・ 思考力、認知機能の低下
- ・ 倦怠感、うつ症状、引きこもり
- ・ 不眠症、睡眠障害
- ・ がん
- ・ 高血圧、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化症、肥満症等の生活習慣病
- ・ キレル、イライラ、情緒不安定
- ・ 更年期障害、性欲低下
- ・ 骨粗鬆症
- ・ 便秘、下痢、腹部膨満感等の腸トラブル
- ・ しわ、たるみ、薄毛、白髪等の見た目の老化
- ・ 関節リウマチ、バセドウ病、橋本病等の自己免疫疾患
- ・ 自閉症
- ・ アトピー性皮膚炎、花粉症、気管支喘息等のアレルギー性疾患

このAF(アドレナル・ファティーグ)セミナーは、アドレナル・ファティーグについての知識と情報を共有し、治療のスキルアップに役立てていただくためのセミナーです。このセミナーは、特に以下のような方に推奨いたします。

- ・ AF(アドレナル・ファティーグ)治療について学びたい方
- ・ 自由診療の導入を検討している方
- ・ 自由診療を導入しているが、さらなる進化を目指している方
- ・ 臨床で活かせるサプリメントを学びたい方
- ・ 尿中有機酸検査や尿中アミノ酸検査、重金属検査、遺伝子(SNPs)等のバイオリジカル検査の臨床応用について学びたい方
- ・ 難治性の慢性疾患に有効な治療を模索している方
- ・ 世界スタンダードなバイオメディカル療法を学びたい方

ストレス社会において「疲労」に悩まされる人々が増加の一途であり、「疲労」を検索することで副腎疲労に辿り着き、“疲労を何とかしたい”、と模索する方が増えています。

原因不明の倦怠感、睡眠障害、エネルギー不足、性欲低下、肥満、甘いものの過食、風邪や感染症の治癒遅延、重度のPMS(月経前症候群)、うつ症状、記憶力・集中力の低下等、多岐に渡るこれらの症状は、副腎疲労:アドレナル・ファティーグに関連します。

副腎疲労が広まり、正しい情報や治療を医療機関に求める患者様が増えています。

玉石混交の情報では副腎疲労が改善できず、さらなる疲労に悩み苦しんでいる方々が多いのが現状です。

今回のセミナーでは、副腎疲労の症状と検査結果から副腎疲労の程度判定、そして副腎疲労を招くストレス(環境、肉体的、精神的)や炎症をみつけるための検査や分析方法を基礎からお伝えいたします。

近年、環境毒素、カビ毒(マイコトキシン)や有機化合物による毒素、腸内環境やSIBO(小腸の異常な細菌増殖にともなう諸症状)、神経伝達物質、腸管の吸収力、さらにはテラーメイド医療につながるメチレーションSNPs検査など、次々と新しいバイオリジカル検査を医療機関で導入することができるようになりました。

バイオリジカル検査は患者さんの見えない悩み・問題点を数値化し、解決方法の提案を容易とし、科学的根拠に基づき「疲労」から抜け出す効果的な検査となります。

バイオリジカル検査を組み合わせたデータを読み解き、サプリメント治療やホルモン補充療法に至るまで、スクエアクリニックにおける10年以上のバイオリジカル療法の経験を皆さんとシェアしたいと思います。

ゲストとして、訪問診療を中心に10施設のクリニックを運営し、新たに自由診療専門のクリニック(アルゴメディカルクリニック)を開設され、素晴らしい治療成績をあげられている小倉行雄先生に副腎疲労外来の実際についてご講演いただきます。

保険診療に従事していると、自費診療は未知の領域であり、開設に不安や戸惑いを感じるかと思います。自費診療の導入方法や、成功までの道のりをお話いただきます。

さらに、副腎疲労経験者でもあるマーケティング戦略のプロ、瀬川丈さんから副腎疲労外来の導入に関してアドバイスをいただきます。

「副腎疲労かもしれない、自分はどこの医療行ったらよいのだろうか?」と悩む患者さんに対して、副腎疲労外来をどのようにアピール・マッチングしていくかをご提案いただきます。

ゲストのお話は、すでに副腎疲労外来を開設されている先生方や、新たに開設される先生においても有意義な情報になるでしょう。

1 副腎疲労

1-1 副腎疲労の症状 兆候

1-2 副腎疲労の検査

1-3 副腎疲労の程度の評価

1-4 その他のホルモンの評価

2 副腎疲労の原因検索

2-1 有機酸検査

2-2 マイコトキシン検査

2-3 有機化合物の毒素検査

2-4 葉酸レセプター抗体検査

2-5 SIBO検査

2-6 SNPs検査

3 副腎疲労外来の実際 小倉行雄先生

4 副腎疲労外来のマーケティング 瀬川丈氏

5 副腎疲労の治療方法

サプリメント療法

ホルモン補充療法

マイコトキシン吸着療法

6 副腎疲労の症例

◆ 講師のご紹介



本間 龍介 先生

スクエアクリニック 副院長、医学博士 MBA

日本抗加齢医学会専門医、日本抗加齢医学会評議員、米国抗加齢医学会フェロー、日本医師会認定産業医、日本内科学会会員

NPO やさしい医療推進協議会 理事(高齢者在宅医療支援団体)

自らがアドレナル・ファティーグに苦しんだ経験を活かし、ストレスで悩む方のアドレナル・ファティーグ外来を行なっている。また、米国で学んだアンチエイジング医学を日本人の体質に合わせた、栄養・アレルギー治療にも取り組んでいる。



本間 良子 先生

スクエアクリニック 院長

日本抗加齢医学会専門医、米国抗加齢医学会フェロー、日本医師会認定産業医、日本内科学会会員

家庭医として従事する一方、抗加齢医学外来・アドレナル・ファティーグ外来で治療効果を上げている。最近ではホルモン補充療法やブレインマネジメントまで診療の幅を広げている。また、自閉症児だけではなく健常児の栄養サポートも行い、子供たちのたくさんの笑顔を作るために奮闘している。二児の母親でもある。

◆ 特別講師のご紹介



小倉 行雄 先生

医療法人社団明照会 理事長 医学博士

名古屋大学医学部卒業後、安城更生病院、知多市民病院外科、名古屋大学付属病院小児外科での勤務を経て、平成17年に名古屋市名東区にて青空クリニック開院。

平成20年に医療法人社団明照会理事長就任。



瀬川 丈 氏

株式会社トレジャープロモート 代表取締役

会計事務所系コンサルティング会社勤務時代の長時間勤務で極度の疲労感が抜けず、コーヒーとカフェイン錠剤を常用する生活になる。

2時間のミーティング程度で心身ともに疲労困憊してしまう毎日を数年過ごす。アドレナル・ファティーグ治療に出会い、体調が大幅に改善した経験を持つ。

*このセミナーの映像収録は予定しておりません。

また、セミナー中のビデオ、カメラによる撮影及び、レコーダー等による録音はご遠慮下さい。

